

あかひとか

平城遷都1300年・『万葉赤人歌の表現方法』出版記念 歌聖山部赤人は

ふひと みかさやま

不比等郎や御笠山をどう詠んだか

ひさゆき

■愛知教育大学教授 田口 尚幸

柿本人麻呂と並称される万葉の歌聖、山部赤人。周到な計算を駆使して歌を組み立てる達人です。本特別講座では、平城遷都1300年と講師自著『万葉赤人歌の表現方法』出版を記念し、平城宮に隣接する故太政大臣藤原不比等郎の庭、および、平城京郊外の御笠山付近について、赤人がどんな表現方法で歌を詠んだかをわかりやすく講義します。講師はこれまで5回シリーズ「万葉の歌聖山部赤人」や特別講座「国文学者が講義し書家が実演・解説する万葉歌」を当センターで講義してきましたが、御笠山付近を詠んだ春日野歌はとりわけ好評でした。

想像を絶する精密さで歌を組み立てていた赤人に思いをはせたい方や、計算する歌人赤人から短歌実作のヒントを得たい方には、きっと楽しめる90分になるでしょう。

●日時 7月11日(日) 13:00～14:30

●受講料 会員・一般とも 2,500円

※入会金不要



昭和39年生まれ。岐阜県土岐市出身。慶応義塾大学卒業、同大学院修士課程修了の後、河合塾講師や高校教諭を経て、平成4年から愛知教育大学に奉職。現在、教授。守備範囲は広く、万葉歌人の山部赤人・平安時代の伊勢物語・江戸時代の箏曲地歌を三本柱として執筆活動を行なう。「正しく、新しく、わかりやすく」をモットーにして

おり、一般向けに自説を広める入門書として『伊勢物語入門』『読めて書ける伊勢物語』があり、難解な歌詞を平易に解説した注釈書『箏曲地歌五十選』も好評。専門書には、『伊勢物語相補論』『万葉赤人歌の表現方法』がある（『相補論』を除く著作は、当センター購買部でも購入可能）。



講師自著（購入任意）



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

名古屋

名古屋市中区栄3の4の5
スカイル10階
TEL 052-249-5553